BEST AVAILABLE COPY

Reference No.5

Utility Model

Public Laid-open Disclosure No.: 62-204510

Public Laid-open Disclosure Date: December 26, 1987

Title of Invention: Stick-shaped Receptacle for Cosmetics

Applicant: Hida Seisakusho

Abstract:

The present invention relates to a stick-shaped receptacle for cosmetics.

Explanation of Reference Numerals

- 1 receptacle body
- 2 cap
- 3, 4 connecting portion
- 5 pipe member (bellows)

19 日本国特許庁(JP)

①実用新案出額公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-204510

Color Cl.4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和62年(1987)12月26日

A 45 D 40/00

E-6671-3B

審査請求 未請求 (全2頁)

図考案の名称

棒状化粧料容器

②実 願 昭61-92911

御出 願 昭61(1986)6月18日

個考

Щ

柏市花野井627番地 悟

79考 案 者 奈 良 元

柏市花野井627番地

の出 願 人 株式会社 飛弾製作所

柏市花野井627番地

②代 理

弁理士 松丸 国雄

砂実用新案登録請求の範囲

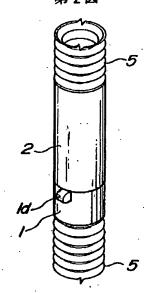
筒状の容器本体1と該容器本体1に着脱自在に 嵌合する同じく筒状の蓋体2とからなり、前記容 器本体1の底部並びに蓋体2の頂部に夫々連結部 3. 4を突出せしめると共に軟質樹脂等の可撓性 資材からなる蛇腹状のパイプ部材 5 の両端開口部 を前記連結部3,4に夫々嵌着固定してなる棒状 化粧料容器。

図面の簡単な説明

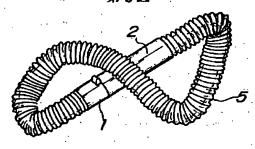
図面は本案の実施例を示すもので、第1図は要 部を示す擬断面図、第2図は容器とパイプ部材の 連結状態を示す斜視図、第3図及び第4図はパイ プ部材の曲げ方の一例を示す斜視図である。

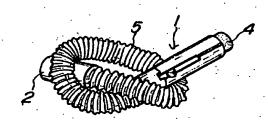
1 ……容器本体、2 ……蓋体、3, 4 ……連結 部、5 ……バイブ部材。

第2図

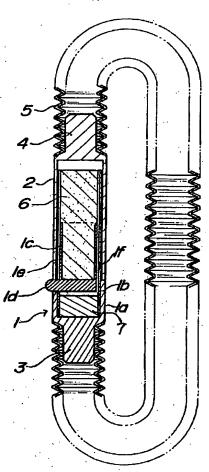












⑩ 日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

◎ 公開実用新案公報(U) 昭62-204510

@Int.Cl.

識別記号

庁内整理番号

每公開 昭和62年(1987)12月26日

A 45 D 40/00

E - 6671 - 3B

(全 頁) 審査請求 未請求

棒状化粧料容器 図考案の名称

> ②実 願 昭61-92911

经出 願 昭61(1986)6月18日

砂考 案 者 外 Ш

柏市花野井627番地 仁

者 奈 良 元 悟 ②考 案

柏市花野井627番地

株式会社 飛弾製作所 ⑪出 願 人

柏市花野井627番地

多代 理 弁理士 松丸 国雄 人

1. 考案の名称

碎状化粧料容器

2. 実用新案登録請求の範囲

同状の容器本体1と該容器本体1に宿脱自在に嵌合する同じく間状の蓋体2とからなり、前配容器本体1の底部並びに蓋体2の頂部に失々連結部3・4を突出せしめると共に軟質協加等の可提性質材からなる蛇腹状のパイプ部材5の両端閉口部を前記連結部3・4に失々嵌着固定してなる棒状化粧料容器。

3. 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本案は化社科の昇降等の磁能面より率ろ若年 者層の興趣を喚起せしめる処具性豊かな棒状化 粧科容器に関するものである。

従来の技術及び考案が解決しようとする問題 点

従来の権状化粧料容器に関しては、化粧料の昇降機能並びにコスト面の改善等を目的とした

ものが数多く開発されているが、本案は前記従来の一般的な課題から大きく離れて若年者間の 興趣を喚起せしめる遊びどころとファンシーク ツズ的要素を収り入れた玩具性豊かな容器を提供しようとするものである。

問題点を解決するための手段

舆 施 例

以下本架の貯細を図面に示す実施例について 説明すると、1は筒状の谷器本体であつて、外側に袴筒1 a を配し、該袴筒1 に身筒1 b を嵌



福國定すると共に身間1 0 に化粧料 6 を固持す る化粧料皿10を収納し、酸化粧料皿10亿固 定した採作倒 1 d が前記身間 1 D 化穿つた縦孔 1 8 を 頁通 して 該 身筒 1 b の 側 面 に 突 出 し、 操 作釦10の上下移動によつて化粧料皿1cが昇 降し、化粧料6の無出収納を行りよりになるも のであるが、化粧料の緑出構造は奥施例のスラ イドタイプのものに限らず回転繰出構造でも本 衆の目的を遊成し得ることは可能である。2は 前記容器本体1の身間1Dに滑脱自在に嵌合す る筒状の遺体であつて、身間1 0 の側面に突肢 した複数個のダボ11によつて堅い嵌合状態が 得られる。3.4は前記容器本体1における得 間18の底部並びに前記盤体2の頂部に突散し た連結部で必つて、との連結部3.4 に軟質樹 脂等の可強性質材からなる蛇腹状のバイブ部材 5 の 両端 開口部を嵌着固定する。 尚図中 7 は身 簡1カの下部に強制嵌入して酸身間1カを袴筒 1 & の内壁面に圧接固定するための身間固定部 材を示す。

考案の作用、効果

本家は容器本体1と蓋体2に連結部3.4を 突散し、この運結部3.4に可魏性資材からな る蛇腹状のパイプ部材 5 の開口部を夫々嵌着固 定したもので容器本体1と歪体2は常に一体と して保持され、便用時に藍体2だけを置忘れそ の他不用液に紛失するなどの與れがなく、义可 樹性質材からなる蛇腹状のバイブ部材5をもつ て連結したもので、蓋体2を設置した状態で使 用者の好みに応じた曲げ方で楽しんだり或いは プレスレッド並びにパイプ部材5を長めにすれ **ぱネックレス等のアクセサリーとしても楽しむ** ことが可能であり、更に噩体2を収外してパイ プ部材 5 を大きく曲げてこれを蛇腹の凹凸部を 咄 合せるように結んだりして楽しむことができ 、若年者層の興趣を著しく喚起せしめ待る切具 性豊かな化粧料容器を提供し付るものである。

4. 図面の簡単な説明

図面は本案の実施例を示するので、第1図は要部を示す機断面図、第2図は容器とパイプ部

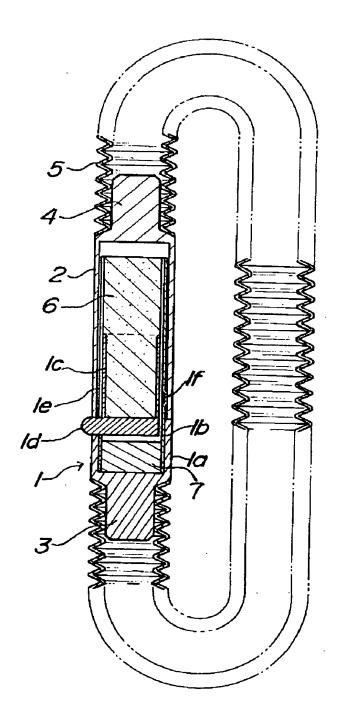
(4)

材の連結状態を示す斜視図、解3図及び第4図はパイプ部材の曲げ方の一例を示す新視図である。

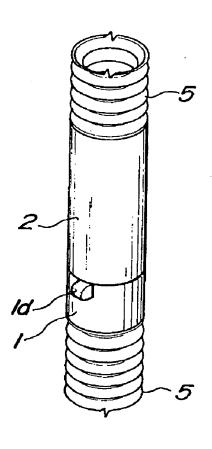
1 …容器本体、2 …監体、3 . 4 … 連結部、5 …パイプ部材。

代理人、升堰士 松 丸 国 雄

第 1 図



第 2 図



1 …容器本体

2 … 蓋体

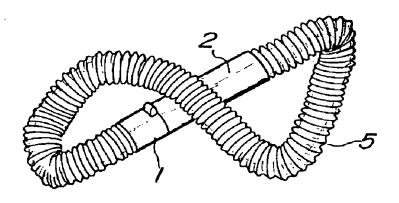
3.4 … 連結部

5 …ペイプ部材

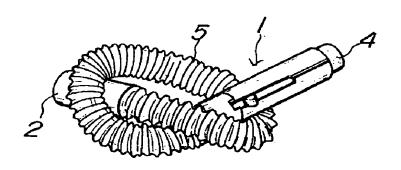
代理人、弁理士 松 丸 国 雄



第 3 図



第 4 図



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.